

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融危機に端を発する世界経済の減速や、急激な円高に伴う輸出の大幅な落ち込み等により、設備投資の抑制が強まり景気は急速に後退しております。

こうした情勢のもと、当社グループの業績は概ね堅調に推移し、総額では当第3四半期連結累計期間の成約高は前年同期に比べ25,117百万円増加の112,626百万円となりました。

また、同期間の売上高は、前年同期に比べ大口案件の売上計上が減少したため、121,796百万円と前年同期を5,548百万円(前年同期比4.3%)下回ることとなりました。売上高の部門別構成は電力関連部門64.0%、化学機械関連部門13.0%、電子精機関連部門9.2%、環境・船舶関連部門11.9%、その他1.9%となりました。

一方で、売上総利益は4,599百万円(前年同期比555百万円増、13.7%)、営業利益1,013百万円(同329百万円増、48.2%増)、経常利益1,185百万円(同305百万円増、34.7%増)、四半期純利益595百万円(同107百万円増、22.1%増)となりました。

前年同期比較に関する情報は、参考として記載しております。

受注及び販売の状況
第3四半期連結累計期間

単位(百万円)

部門別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	69,229 (46,962)	61.5 (53.7)	22,267	77,971 (82,595)	64.0 (64.9)	△ 4,623	61,136 (56,777)	54.8 (50.4)	4,358
化学機械 関連部門	10,024 (13,118)	8.9 (15.0)	△ 3,094	15,779 (18,052)	13.0 (14.2)	△ 2,273	7,718 (8,850)	6.9 (7.9)	△ 1,131
電子精機 関連部門	12,958 (12,300)	11.5 (14.1)	658	11,212 (12,927)	9.2 (10.1)	△ 1,715	6,708 (6,203)	6.0 (5.5)	505
環境・船舶 関連部門	18,311 (14,200)	16.2 (16.2)	4,110	14,553 (12,332)	11.9 (9.7)	2,221	35,088 (40,581)	31.4 (36.1)	△ 5,493
その他	2,103 (926)	1.9 (1.0)	1,176	2,279 (1,435)	1.9 (1.1)	843	982 (81)	0.9 (0.1)	900
合計	112,626 (87,508)	100.0 (100.0)	25,117	121,796 (127,344)	100.0 (100.0)	△ 5,548	111,634 (112,494)	100.0 (100.0)	△ 859

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ)資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は39,735百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,781百万円の増加となりました。主な要因として売上債権の増加等により流動資産が4,471百万円増加し、投資有価証券評価替え等により固定資産が690百万円減少したことによります。

(ロ)負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は23,816百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,119百万円の増加となりました。この主な要因は、仕入債務の増加等により流動負債が4,657百万円増加し、その他の固定負債の減少等により固定負債が537百万円減少したことによります。

(ハ)純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は15,918百万円となり、前連結会計年度末と比較して338百万円の減少となりました。この結果自己資本比率は39.9%となりました。

②キャッシュフローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して360百万円増加の3,780百万円となりました。内訳につきましては、以下の通りであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュフロー

営業活動の結果、増加した資金は1,239百万円となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,130百万円、仕入債務の増加額5,431百万円等であり、減少の主な内訳は売上債権の増加額4,876百万円、法人税等の支払額651百万円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュフロー

投資活動の結果、減少した資金は336百万円となりました。増加の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入30百万円等であり、減少の主な内訳は有形固定資産の取得209百万円、投資有価証券の取得による支出187百万円等であります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュフロー

財務活動の結果、減少した資金は555百万円となりました。減少の主な内訳は、短期借入金の返済による支出310百万円、配当金の支払234百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績結果は、平成20年5月19日に開示いたしました当期業績予想に対し堅調に推移しており、21年3月期の通期業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,781,553	4,920,922
受取手形及び売掛金	25,485,492	20,608,346
有価証券	1,086,937	621,157
商品	492,532	687,531
原材料	—	31,203
仕掛品	—	24,698
その他	651,631	1,234,926
貸倒引当金	△40,449	△142,835
流動資産合計	32,457,699	27,985,949
固定資産		
有形固定資産	2,675,175	2,588,017
無形固定資産	18,460	20,731
投資その他の資産		
投資有価証券	3,157,964	4,068,438
その他	1,699,311	1,362,728
貸倒引当金	△273,010	△71,601
投資その他の資産合計	4,584,265	5,359,564
固定資産合計	7,277,901	7,968,314
資産合計	39,735,600	35,954,263
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,446,166	7,594,959
受託販売未払金	11,692,842	7,093,374
短期借入金	1,260,000	1,570,000
未払法人税等	203,847	362,625
引当金	160,796	371,255
その他	1,535,325	1,649,647
流動負債合計	23,298,979	18,641,862
固定負債		
長期借入金	12,500	20,000
引当金	327,951	481,275
その他	177,185	553,959
固定負債合計	517,637	1,055,234
負債合計	23,816,616	19,697,096

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443,284	3,443,284
資本剰余金	2,655,431	2,655,496
利益剰余金	9,849,053	9,522,223
自己株式	△531,969	△530,406
株主資本合計	15,415,799	15,090,598
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	306,899	959,540
繰延ヘッジ損益	△3,285	△2,129
土地再評価差額金	139,534	139,534
評価・換算差額等合計	443,147	1,096,945
少数株主持分	60,036	69,623
純資産合計	15,918,983	16,257,167
負債純資産合計	39,735,600	35,954,263

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	121,796,134
売上原価	117,197,131
売上総利益	4,599,003
割賦販売未実現利益戻入額	45,942
割賦販売未実現利益繰入額	46,113
差引売上総利益	4,598,833
販売費及び一般管理費	3,585,509
営業利益	1,013,324
営業外収益	
受取利息	21,919
受取配当金	150,492
その他	27,187
営業外収益合計	199,599
営業外費用	
支払利息	17,100
その他	9,871
営業外費用合計	26,971
経常利益	1,185,951
特別利益	
投資有価証券売却益	9,924
特別利益合計	9,924
特別損失	
たな卸資産評価損	41,800
その他	23,080
特別損失合計	64,880
税金等調整前四半期純利益	1,130,995
法人税、住民税及び事業税	497,108
法人税等調整額	46,558
法人税等合計	543,667
少数株主損失(△)	△8,326
四半期純利益	595,654

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,130,995
減価償却費	149,112
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,924
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,443
有形固定資産処分損益 (△は益)	401
ゴルフ会員権評価損	11,235
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	99,022
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△160,459
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,000
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△153,323
受取利息及び受取配当金	△172,411
支払利息	17,100
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,876,616
たな卸資産の増減額 (△は増加)	250,900
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,431,574
未払又は未収消費税等の増減額	△60,201
その他	116,532
小計	1,735,382
利息及び配当金の受取額	172,501
利息の支払額	△16,495
法人税等の支払額	△651,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,239,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△209,643
有形固定資産の売却による収入	18,478
その他の無形固定資産の取得による支出	△1,683
投資有価証券の取得による支出	△187,496
投資有価証券の売却による収入	30,242
貸付けによる支出	△2,000
貸付金の回収による収入	15,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,160,000
短期借入金の返済による支出	△1,470,000
長期借入金の返済による支出	△7,500
自己株式の取得による支出	△2,400
自己株式の売却による収入	740
配当金の支払額	△234,956
少数株主への配当金の支払額	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,465
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	360,594
現金及び現金同等物の期首残高	3,419,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,780,471

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	
I 売上高	127,344
II 売上原価	123,301
売上総利益	4,043
延払利益繰延戻入	49
延払利益繰延	49
差引売上総利益	4,043
III 販売費及び一般管理費	3,359
営業利益	683
IV 営業外収益	214
V 営業外費用	17
経常利益	880
VI 特別利益	12
VII 特別損失	2
税金等調整前 四半期(当期)純利益	890
法人税、住民税 及び事業税	252
法人税等調整額	150
少数株主損益	△0
四半期(当期)純利益	487